

浅草流 落合茶節 専伝系 双盤念佛の伝

双盤念佛は、元来、太鼓一、双盤鉦二枚を以って一組となし修業するものであるが、当山に伝わる双盤念佛は、太鼓一、双盤鉦四枚（復双盤）を以って一組となす。



太鼓 親

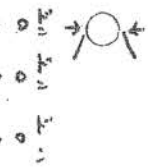
- 四番鉦 (こり鉦)
- 三番鉦
- 二番鉦
- 一番鉦 (親 変) 七の玉

- ① 念仏奉納 時至って、五名それぞれ事前の打ち合わせ、担当を決め、太鼓・鉦の後に着座（正座）
- ② 四番鉦 一同着座、準備完了を確認して、鉦のやや下方を軽く一打（用意のチャーン）
- ③ 太鼓、キーンを聞いて、両手に持ったバチを二本そろえて、太鼓の中心を軽くおさえ、深く一礼、鉦の四名も太鼓にあわせて、深く一礼（始めの礼）

④ 十三鉦

太鼓、両バチで、太鼓の縁を、はきむようにして、軽くはたきまわすようにおさえる。

太鼓の響りを半分ずつおさえる



強く打つ

⑤ 念仏

⑤ 四逆 念仏は、太鼓が鳴る。 打ち方は、響く太鼓の音

太鼓 鉦

太鼓 鉦

太鼓 鉦

太鼓 鉦

ナウソーホー | アーミーイセウ | ガアー | アアー | ア

▼

モーホー | アー | ハア | アウ | アウ | ケー | マー |

▼

ナー | マー | ハー | ハー | ハン | モー | ホー |

▼

ナー | マー | ハー | ハー | ハン |

▼

ナー | マー | ハー | ハン |

▼

ナー | マー | ハー | ハン |

太 鉦

アーハイアーハイ アンブーイーー ナアーアー ハイモトホー

太 鉦

アーハイハア アーハイカアーハーハンエー

◎ 五返 念仏は太鼓の合図により鉦一番より順次一人一人唱えぬ 打ち方「起し」太

太 鉦

ナシモーホカ

太 鉦

アーミーイーカアアアアハアハア

太 鉦

アーハイアハンエー

太 鉦

ウンナーアーハイイモオオオホカホ

太 鉦

アーハイアハイカアアハアハア

太 鉦

アーハイナアアアアハイ

太 鉦

モーホオアーハイ

太 鉦

アーカア

太 鉦

ナンモーホカ

太 鉦

アーハーハイカアーハーハンアーハイ

太 鉦

ナアアアハイ

太 鉦

モトホカ

太 鉦

アーハイカマーハアハン

太 鉦

エー

太 次は二番鉦念仏を唱え、順次三番、四番唱えぬ。太鼓は二番が終ると、順次風い

これにて二番鉦念仏終り！

フターの寝し



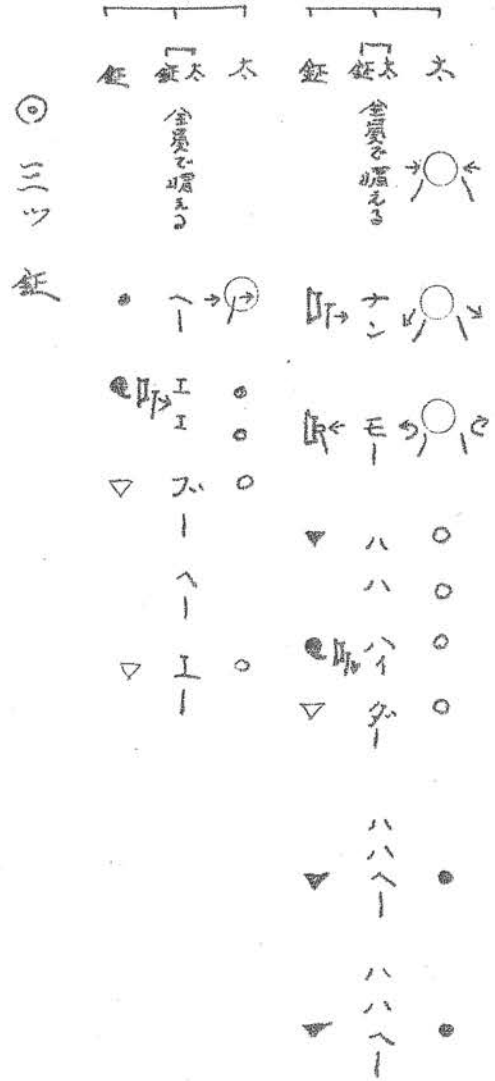
4回

フターの起し



4回

⑥ 掛け念仏



マヘーの起し

ウヘーの寝し

ウヘーの起し

◎ 四ツ鉦

鉦 入鼓。 エーを受けて	太 鉦。 キと受け	鉦 大鼓。 エーを受けて	太 前項ニツ鉦。 エーを受けて
エー	エー	エー	エー
ナニ	ナニ	ナニ	ナニ
マ	マ	マ	マ
ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
ク	ク	ク	ク
ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
ウ	ウ	ウ	ウ
↑	↑	↑	↑
エ	エ	エ	エ

4[2]

鉦 不鼓の エーを受けて	太 鉦。 キと受けて	鉦 太鼓。 エーを受けて	太 鉦の エーを受けて
エー	エー	エー	エー
ナニ	ナニ	ナニ	ナニ
マ	マ	マ	マ
ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
ク	ク	ク	ク
ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
ウ	ウ	ウ	ウ
↑	↑	↑	↑
エ	エ	エ	エ

4[2]

鉦 不鼓の エーを受けて	太 鉦。 エーを受けて	鉦 不鼓の エーを受けて	太 鉦の エーを受けて
エー	エー	エー	エー
ナニ	ナニ	ナニ	ナニ
マ	マ	マ	マ
ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
ク	ク	ク	ク
ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
ウ	ウ	ウ	ウ
↑	↑	↑	↑
エ	エ	エ	エ

4[2]



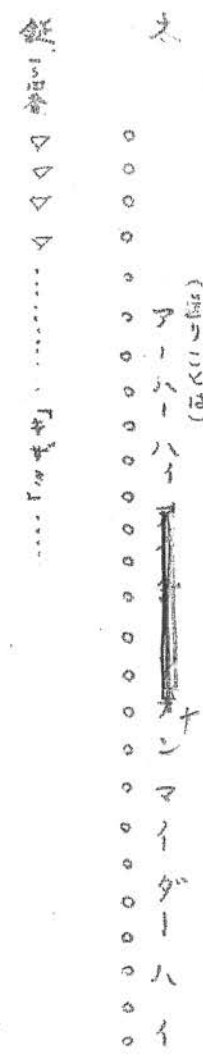
⑧ 玉入水

玉は「七の玉」「五の玉」「三の玉」とあり本数の合算に  
しなくては一番錠、二番錠、三番錠の順に七・五・三と  
玉を入れる。玉は、キガミより強くはつきり入れよ。

太が下に払う



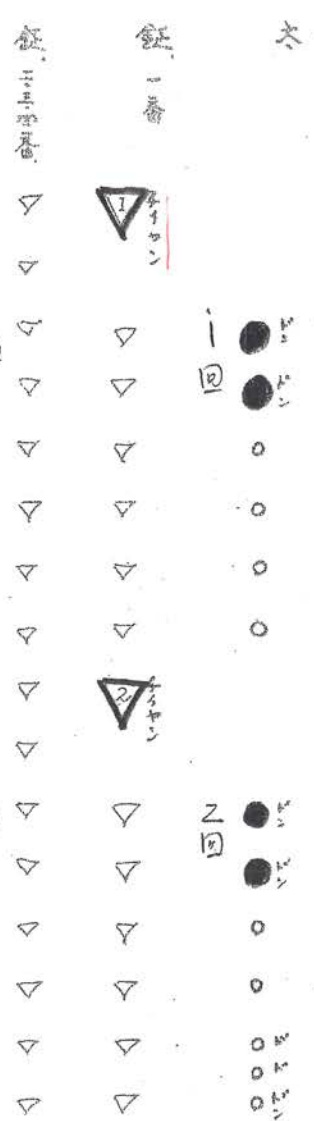
七の玉送り



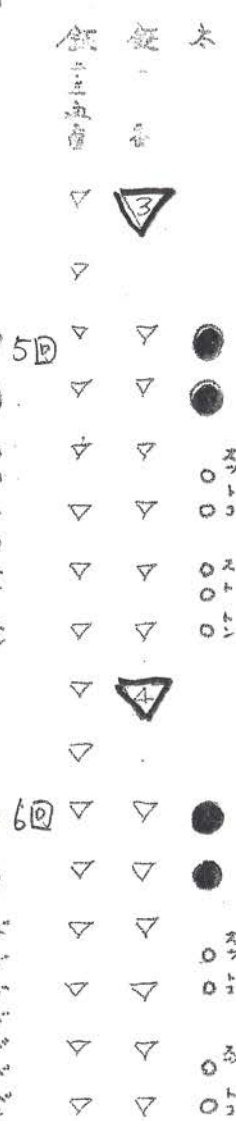
七の玉受け



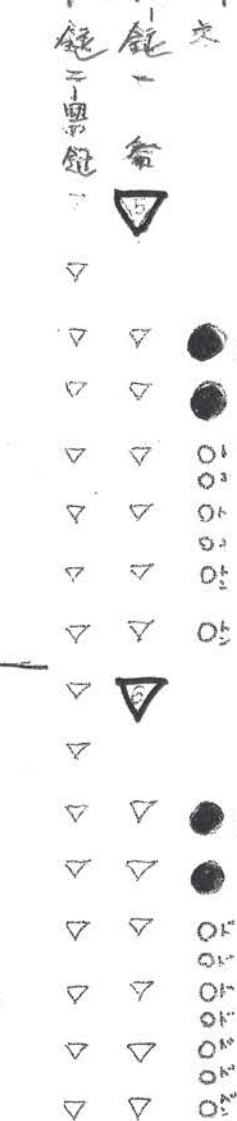
玉



玉



玉

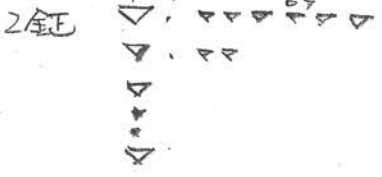


6回  
2回  
3回  
1回

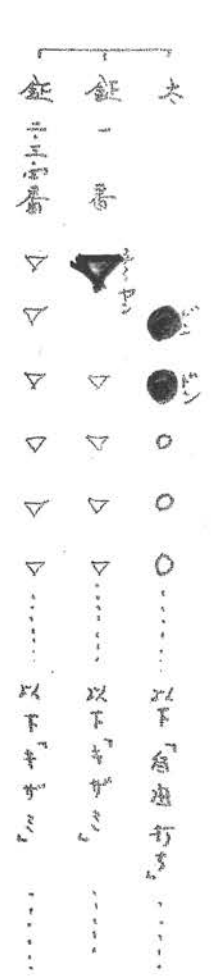
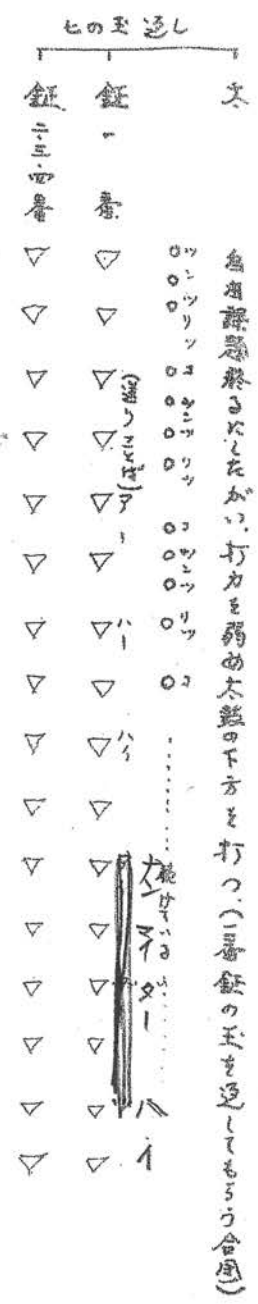
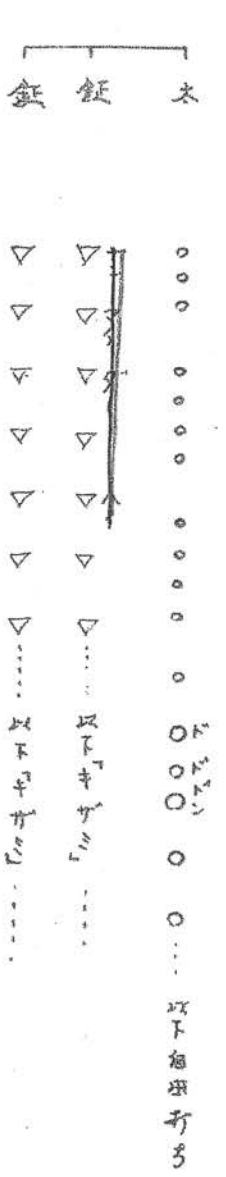
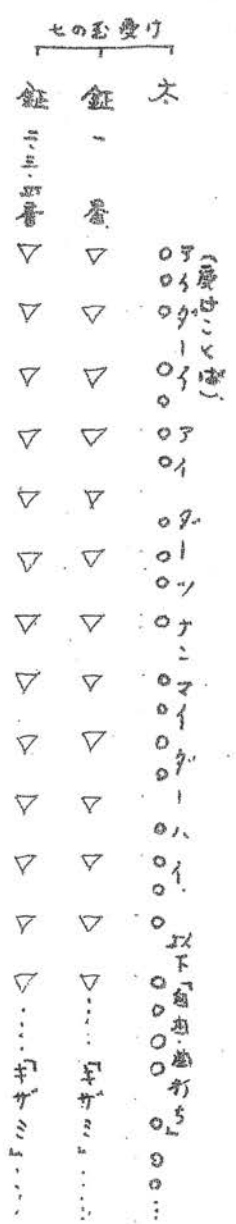
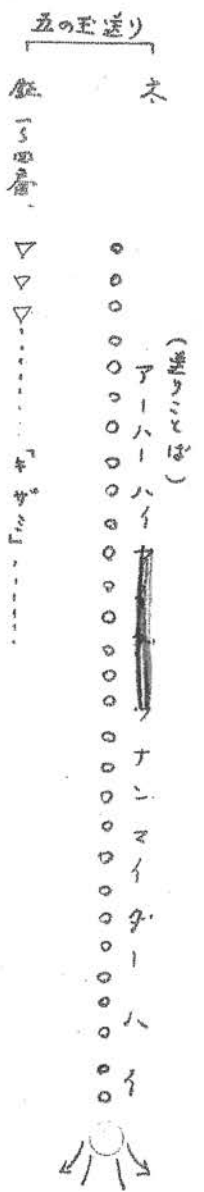
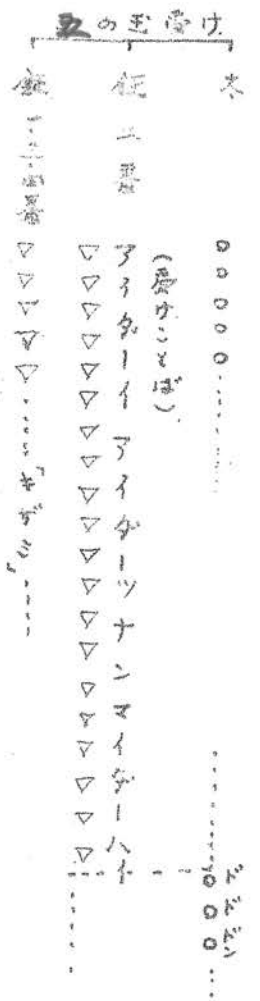
2回

3回





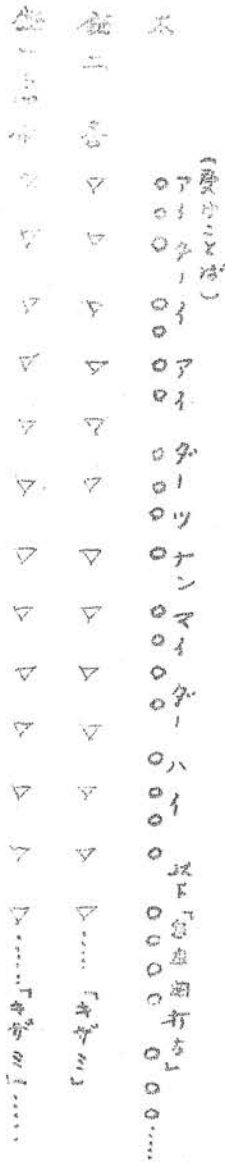
4回  
2回  
3回  
1回



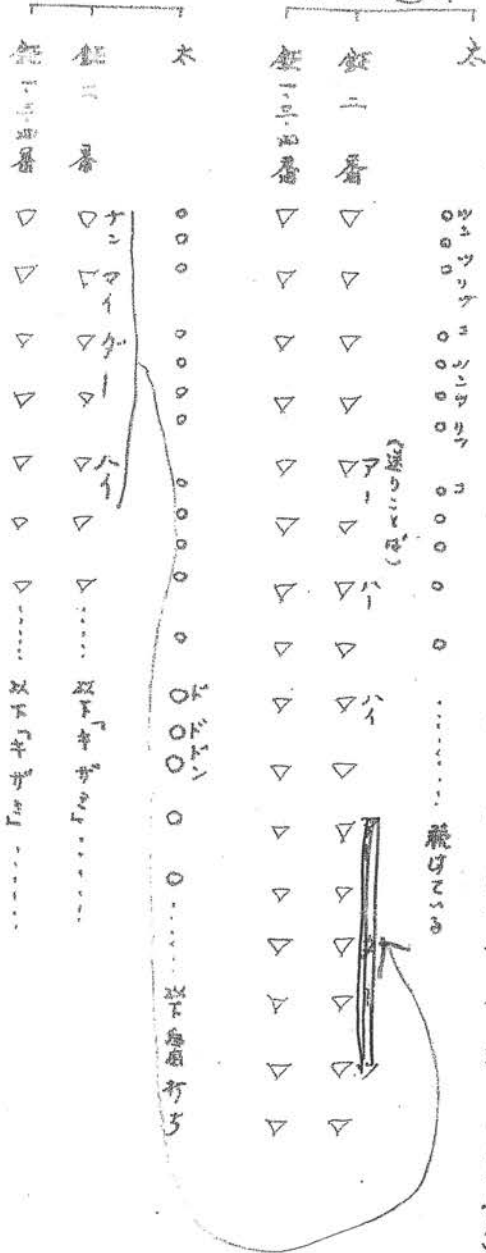
玉の玉送り



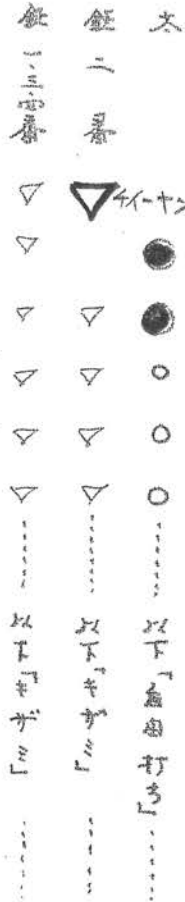
玉の玉送り



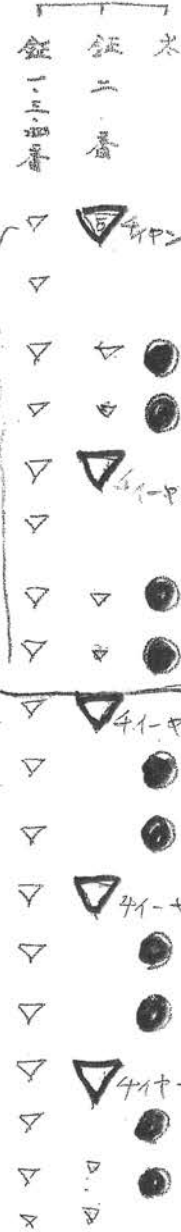
玉の玉送り



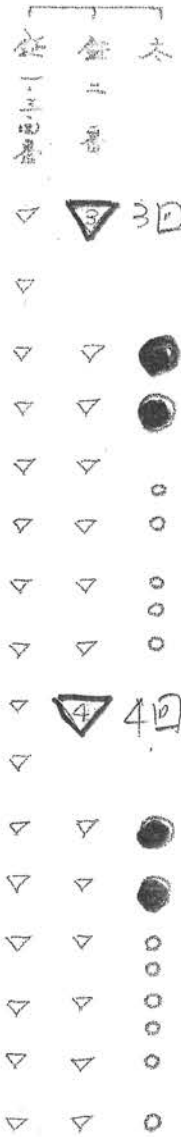
玉



玉



玉



自由線懸かるにたいがい、打力を弱め大鼓の下方を打つ(二番銃の玉を送るときは自由線) 隠れている

2回

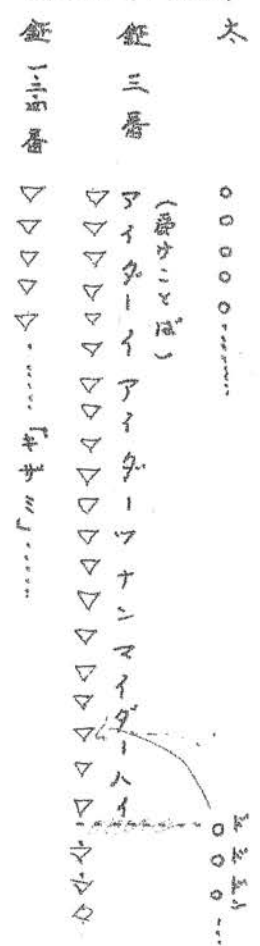
3回

4回

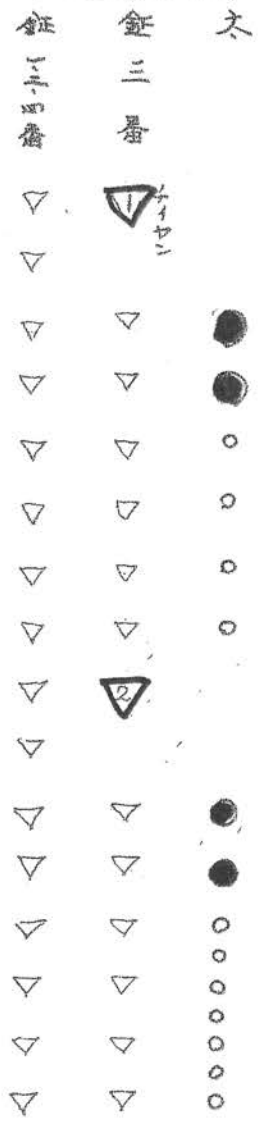


②  
③  
④  
⑤

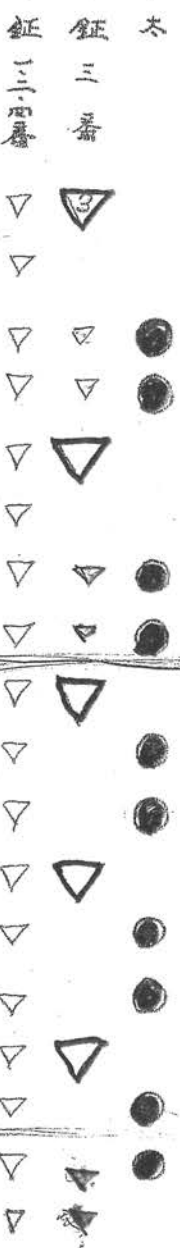
三の玉 投げ



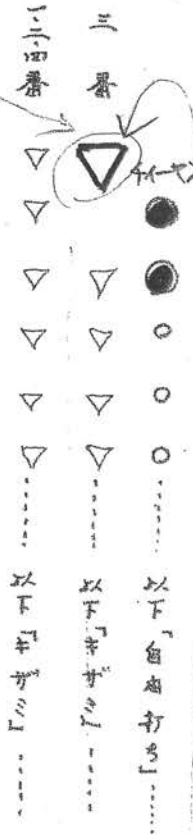
玉



玉



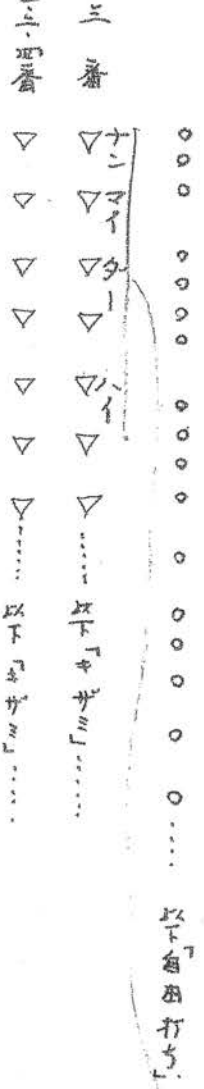
太 鉦三番 鉦一三四番



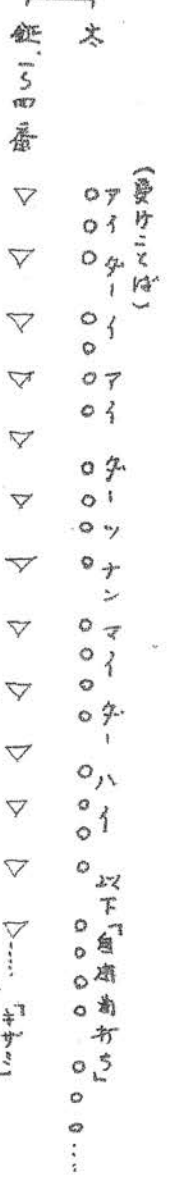
玉の渡し



太 鉦三番 鉦一三四番



玉の投げ



自由課題終了にしたがい、打力を弱め、大鼓の下方を打つ(三番鉦の玉を渡しとさそう合図)

(送りこぼは)

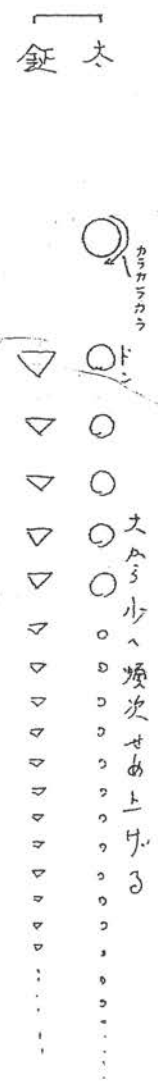
続けてへ

(受けこぼは)

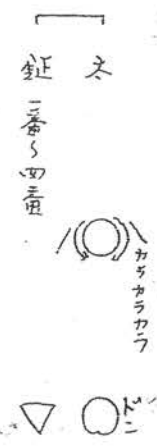
以下「キサミ」……



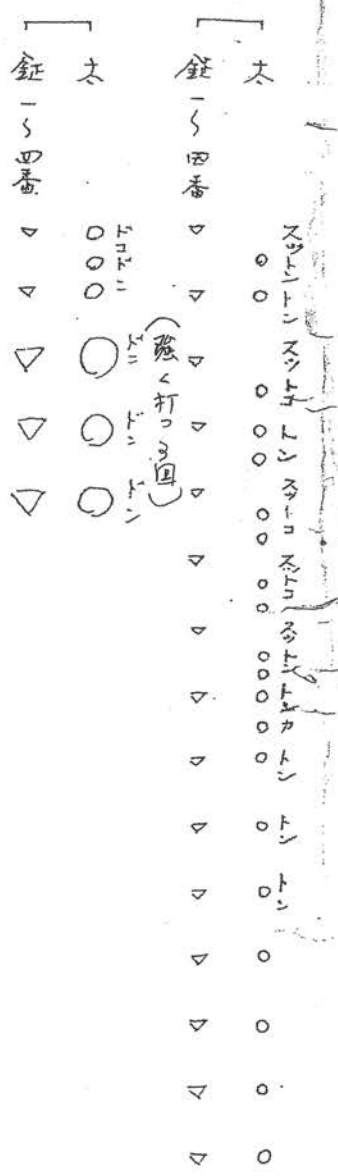
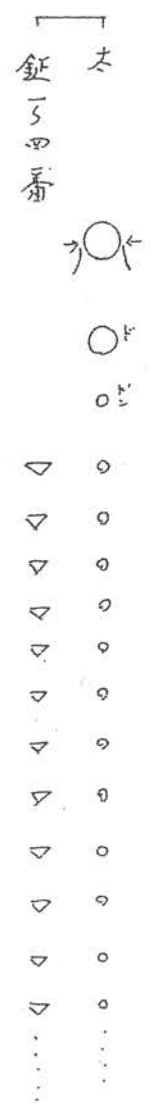
⑪ 小山越し



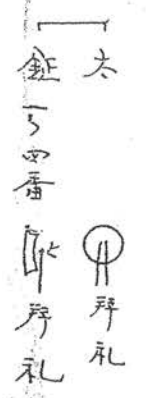
⑫ 天地の玉



⑬ 十三鉦



⑭ 終了



⑮ 退場

